

農業次世代人材投資事業及び就職氷河期世代の新規就農促進事業  
全国型教育機関としての就農サポート体制

教育機関名：帯広畜産大学別科（酪農専修）

（１）就農に向けた相談体制

<p>1) 相談窓口 学生支援課、別科（酪農専修）</p> <p>2) 相談対応方法等 授業の一環として将来設計や就職指導を行う。具体的な就農先の選定にあたっては、学生支援課や別科にて求人情報を提供するとともに、就農に向けて実施する学外研修先の選定にあたっては、別科担任が相談を受け付ける。 なお、技術関係の相談については、各授業担当教員等が専門的な立場から対応する。 また、別科において個別に対面・電話・メール等での各種相談を受け付ける。</p>
--

（２）就農・定着に向けたサポート内容等

<p>1) 就農に向けたサポート（就農先の紹介・マッチング等）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学生支援課や別科へ届いた求人情報等を学生へ提供するとともに、授業や就農指導を通じた、学外での農業者や就農希望者への支援体制に関しても情報提供する。</li><li>・本学畜産フィールド科学センターをはじめ、本学の保有する各種施設を活用し、就農のために必要な飼養管理・草地管理・加工・施設・機械・経営経済等、多様な酪農技術と知識の習得を図るとともに、学外の牧場等でも積極的に研修するよう指導し、学内外における研修を通じて、自身の将来に関して具体的なビジョンを描けるようにする。これらを通じて、学生の視野を広げ、本人が入学当初希望していた形態だけでなく、多様な選択肢の中から就農先を選ぶことができるようにする。さらに、1年次には、酪農に関する経験がない学生も想定し、基礎的な酪農技術や知識を重点的に身に付けさせるとともに、2年次修了時点で自身の将来像の実現のために主だった状況に対応できる技術・知識を習得させる。なお、親元就農者、独立・自営就農予定者に対しては、在学中に農地確保や就農に向けた手順、留意点等を指導するほか、雇用就農希望者には、雇用就農先の紹介や助言等も行う。</li></ul>
--

2) 就農後の定着に向けたサポート（地域関係者との連携・フォローアップ）

職場内コミュニケーションや農村生活に関する指導・助言を行うとともに、新規参入希望者等には地域情報の提供や関係機関及び関係者を紹介する。

さらに、就農後の定着を支援するため、修了生への定期的な個別連絡を行い、状況把握を行うとともに各種相談を受け付けるほか、就農先への状況調査を併せて実施するなどのフォローアップを行う。

3) その他サポート

その他、在学生・修了生からの相談に関しては適宜対応する。